

震災遺構保存・活用部会における検討内容

1. 専門部会の目標

- 今年度中に、「震災遺構保存管理計画目次(案)」を策定する。
- 震災遺構の保存に関する役割分担と手法、その根拠について整理する。
- 震災遺構の活用に関する役割分担を整理し、官民協働の場をつくる。
※ 町民同士の協働、町民と行政の協働、各専門同士の協働など

2. 目標達成に向けて今年度実施した取組

- 保存活用の可否を反映した「震災遺構リスト」について専門部会メンバーで議論(8月～9月)
 - 「震災遺構リスト」の共有
→資料7-2参照
 - 震災遺構滅失への対応
→解体される旧庁舎・議会棟・総合体育館を全天球カメラ・ドローンによる撮影
 - 震災遺構保存の可否について各担当課と協議
→復旧・復興事業との調整
- 震災遺構の保存活用のイメージを共有(10月～12月)
 - 震災遺構の保存活用に向けた基本的な考え方を整理
→震災遺構の保存活用方針の策定
 - 震災遺構の保存活用に向けた課題抽出
→住民による保存活用を中心とする基本方針の整理
 - 震災遺構の仮保存方法等を検討
→熊本県復興基金を活用した仮保存事業に係る検討
 - 震災遺構の保存活用のイメージを複数整理(町天然記念物を中心に)
→専門部会において国天然記念物「布田川断層帯」の保存活用方針の共有
 - 震災遺構の評価と保存活用のイメージを持ち寄り、検討
(※まちづくり協議会等を通じて、住民との意見交換を行っていく)
→よろず相談会の実施による震災遺構保存活用方法の検討
- 震災遺構の保存活用のイメージを保存整備計画に反映する(1月～3月)
 - 住民向け資料の整理
→『益城町震災遺構リスト』の公開と活用
- 「記憶の継承」推進に当たっての基本姿勢
 - 益城町民が主体的に、ひとりひとりが「益城らしさ」を継承する
 - 町民・行政・その他の各種団体が益城町のために協働して取り組む
 - 震災遺構をできるだけ保存・活用するために、迅速にできることから楽しく取り組む